

保育あき友

Vol. 1.66

瓦版

令和6年12月24日

題字:故 小畑勇二郎 書(秋田県知事)

「力を合わせ地域の課題解決に取り組もう」



秋田県保育協議会
副会長 高橋 大成

秋田県の保育組織を一本化して2年目の後半を過ごしております。これまでの組織活動を振り返ると、公立・民間の組織の良い点を残しながらも、曖昧だった部分を整理・明文化し、より良い活動にしていくため活発な協議が続けられています。各規程の整備を行うことと情報共有により、各部が活発に活動できていると感じます。新型コロナが落ち着き、全国やブロック組織との連携も強化されてきているので、組織の方向性が地域の課題解決に向けた方向と重なり、より具体性を帯びてきたように思います。

現在、県保協として最大の課題は「人口減少地域における保育施設の在り方」ということでしょう。秋田県は全国一の人口減少県です。そして、子どもの数の減少により常に定員を割り続ける園が大半を占め、過疎が進む地域においては今後、運営が立ち行かなくなる園が多くなることは明らかです。

10月、保育総合研究会との合同開催で行った園長セミナーにおいて、こども家庭庁の行政説明のタイトルが「人口減少地域における保育」でした。ここ20年近く、政府の行政説明のほとんどが「待機児童対策」、つまり都市部における保育の量の拡充に焦点があてられていました。それがようやく、少子化によって危機に直面している過疎地域の保育機能をどう維持するか、に重点が移ってきました。それはコロナを経験したここ5年ほどの間に一気

に進んだ感があります。そうしたなか、少子化の最先端である秋田県が全国に先んじて現状を発信し、たとえ過疎地であっても地域から保育施設を無くさない方策について行政を巻き込んで議論していく必要があります。

今年度、組織における大きな動きとして、県議会の議員有志による「こども未来会議」との意見交換を契機に、地域協議会ごとに各市町村にむけた要望活動を一斉に行いました。要望事項は大きく2つあり、1つは「障害児保育について」もう1つは「年度途中入所児への対応について」自治体の補助の拡充を求めるものです。現在、各市町村において対応を検討しているものと思われませんが、今後も県保協として行政との折衝を続け、県内のどの地域においても各園が安心して運営をし、現場の職員が安心して保育できることを目指し活動を展開していく予定です。

県内各園におきましても、今後の組織活動に大いに関心を持っていただき、課題解決へ向けてご協力を賜りますようお願いいたします。

全国保育研究大会・各研修会 参加者からの感想

第67回「全国保育研究大会」奈良大会に参加して



花輪にこにこ保育園
副主任保育士 目時 美里
副主任保育士 北山 直子

10月17日、18日に行われた第67回全国保育研究大会奈良大会に参加させていただきました。秋田県選考会、北海道・東北ブロック選考会を経て3回目の発表の機会となり、毎回たくさんの方からいただいたアドバイスを基に資料やパワーポイントを練り直してきたので、より分かりやすく、伝えやすい内容になったと自信をもって参加しました。会場の奈良コンベンションセンターの大きさに驚かされましたが、そのことでより一層気持ちが引き締まりました。

限られた時間の中で分かりやすく伝えるために、言葉一つ一つを選びながら言い回しや話すスピードにも気を配り、大勢の人を前に緊張しながら発表することができました。会場の皆さんが興味をもって聞いてくれたこと、発表後の質問や、同じ分科会の園の発表を聞いて全国どこの保育園の先生たちも同じ思いで取り組んでいることが分かり心強く感じました。

同時に今までこの研究に携わってきた先生たち、資料をまとめるための時間を確保してくれた先生たち、ご指導して下さった先生たちから多くの励ましの言葉をいただきながら発表することができました。心より感謝いたします。今後も子どもを真ん中にした保育を心掛け、日々取り組んでまいります。

「保育カウンセリングセミナー」に参加して



男鹿市立 五里合保育園
リーダー保育士 平潟 早苗

多様性の社会の中で、相手を理解し関係を築いていくことは子育て支援に欠かせないものであり、興味をもって受講しました。相手を理解するためには「人によって違う価値観に気付き、相手を分かろうとして話を聞くこと」「自分の思いを伝える前に相手の気持ちを受け止めること」が大切なことだと学びました。

答えが一つではない社会の中で、自分の気持ちを受け止めてくれる人がいる関係をつくり、私を主語とした「私メッセージ」で伝えていくことを知り、自分自身を振り返るきっかけにもなりました。また、子ども理解を深め、保護者主体の子育てをサポートするためにも相手の言葉や気付きを待ちながら、肯定的、具体的な表現で明確に伝えていくことも必要だと学びました。

今後はより心がついてくる聴き方、話し方を心がけ、「悩み」と「目標」を共有しながら子ども・保護者支援に取り組んでいきたいと思えます。

「自然とかかわることの大切さ」



西目こども園
保育教諭 桜井 美保

研修を受けて、今より保育がもっと楽しいと思えるように子どもの様々な姿や成長を捉えていきたいと思いました。毎日の保育では子ども同士の喧嘩、泣く、困っている姿をよく目にしています。そんな姿を見るとすぐに声をかけてしまう自分がいました。どのように見守り、どう寄り添うのか悩む時も多くあります。研修の中でもあったように子どもにとって初めて体験する重要性、その時の感情や気持ちに対する反応を見逃さず、保育者も一緒に経験していけるような環境も大切にしたいと思いました。そして、その後の姿や成長を予想しながらどのように変容したのかを具体的にひとつの物語として見とる事ができるように、日々の保育を振り返りながら保育の質を高めていきたいです。

現在、0歳児を担当していますが、衛生面・体調面を配慮すると同じ活動になってしまうのが現状です。その中でも様々な経験を味わえるように環境設定を工夫していきたいと思います。また、活動の様子や姿から子どもの成長を保護者と共有し合い、子どもの育ちについて語り合いながら子育て支援へとつなげていきたいと思います。

常任委員会並びに各部会報告

令和6年度 第1回常任委員会報告

令和6年8月23日（金）13：30～15：40 場所：秋田キャッスルホテル 矢留の間

【参加者】

会長、副会長、各部長、中央関連委員、事務局

【会長挨拶】

第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の反省はこの後にありますが、まずは、皆様のご協力のもと無事に終えることができましたことに感謝申し上げます。正副会長会議事前の話し合いではまとまらない部分もありましたので、常任委員の皆さまと内容を精査して進めてまいりたいと思います。

【協議事項】

(1) 令和6年度各事業部の進捗状況・今後の事業計画について

◎総務部

- ・規定の一部改正案提出
災害互助規定 第3章 事業 第9条 請求書の提出期限を設ける
- ・旅費規程（交通費の計算方法）事務局と確認
- ・全国保育協議会会費の値上げについて
10月中に前期予算の執行状況について確認

◎広報部

- ・1回目の「保育あきた」瓦版の発行
- ・全私保連署名用紙発送作業

◎研修部

- ・第33次保育士研修会・保育カウンセリングセミナーの実施
- ・第33次保育士研修会（清太郎さんの森）について検討

◎研究大会部

- ・第72回北海道・東北ブロック保育研究大会が無事終了

◎運営研究部

- ・保育総合研究会と共催で園長セミナーを10月22日（火）に開催
急速に進む少子化の中で法人及び施設運営について
- ・中・長期的な過疎地域の姿を見据えながら「過疎のその先の教育・保育」について

◎青年部

- ・第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の渉外部を担当
- ・今後運営研究部と合同開催で研修会を実施予定

◎日保協

- ・北海道・東北ブロック支部長会議に参加
- ・過疎地域保育施設視察（こども家庭庁、由利本荘市、九嶋 洋子、上村 清吾）
社会福祉法人蔵立会 えみの森 ・ 社会福祉法人多宝会 石沢保育園

○青年部

- 4月・6月・7月・9月 第46回全国青年保育者会議宮城県大会 実行会議参加
- 5月 全国青年部長会議（横浜）
- 7月 全私保連青年会議・日保協青年部合同研修会（石川）
- 9月 日保協青森支部50周年記念式典並びに祝賀会（青森）
- 10月 全国青年保育者会議 沖縄大会
- 10月 日本保育協会北海道・東北ブロック 合同研修会（盛岡）

◎私保連

- 6月 予算対策（議員会館）

○青年部

- 4月・7月 幹事会
- 5月 全国私立保育連盟青年会議
- 7月 全私保連青年会議・日保協青年部合同研修会（石川）
- 7月 全国私立保育連盟広報部会（鹿児島）
- 9月 全国私立保育連盟青年会議 東京大会
- 2月 特別セミナー（東京）
- 6月 北海道・東北ブロック幹事会（盛岡）
- 11月 北海道・東北ブロック幹事会（盛岡）

◎全保協

- 12月 予算対策
- 第72回北海道・東北ブロック保育研究大会決算（見込み）報告

◎その他

共創プロジェクトチームから

- ・聖園学園短大・聖霊女子短大が各施設に対して園内研修の充実に協力していくことを検討
- ・北海道・東北ブロック保育研究大会で選出された園は聖園学園短大・聖霊女子短大に出向き発表する機会を検討
- ・聖園学園短大、聖霊女子短大の学生が園長と交流するキャリア教育の実施

令和6年度 第2回常任委員会報告

令和6年12月12日(木) 15:00~17:00

場所：保育協議会 会議室

【参加者】

会長・副会長、各部長、中央関連委員、事務局

【会長挨拶】

足元の悪い中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。予定では正副会長会議の時間が余るくらいと踏んでいたのですが、思いのほか話すことがありまして長引いてしまいました。常任委員の方も時間超過が懸念されますが、短時間で終わられますよう皆様と集中しながら内容を精査して進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

【協議事項】

(1) 令和6年度各事業部の進捗状況・今後の事業計画について

◎総務部

- ・上半期予算執行状況は良好である
- ・地域交流助成事業について見直し案について
- ・地域交流助成事業実施要綱の一部改正について
- ・地域交流助成事業実施要綱（案）について
- ・地域交流助成事業申請書（案）・報告書（案）について

◎広報部

今年度2回目の『保育あきた』瓦版を発行いたします。是非とも印刷をして職員の皆さまにもご覧になっていただければ幸いです。

今後の活動としては、3月に広報誌『保育あきた』発行に向け、原稿内容や執筆依頼者を決定し、部員で担当を決めながら進めてまいります。

◎研修部

熊出没警報が延長され、清太郎さんの森での体験は中止となりましたが、研修場所と講師を変更して行いました。話し合いの中で出た様々な意見を来年に活かし、会員の皆様にとって有意義な研修を実施できるよう努めてまいります。

◎研究大会部

令和7年度、南秋田地区（6/6（金）開催）での保育研究大会に向け、原稿の確認や当日の担当者の選考など進めております。ご協力よろしくお願いたします。

◎運営研究部

保育総合研究会と共催で園長セミナーを10月22日(火)に開催しました。多数のご参加をいただき心より感謝申し上げます。また、各市町村における保育関連の単独補助金調べもまとまりましたので、今後、施設運営に役立つ内容になるよう検討していきたいと考えております。

◎青年部

11月25日(月)に開催した青年部研修会には多数の皆様のご参加をいただきました。

保育者にとっての「保育の源」を刺激されるような、大変有意義なものになったと思っております。

◎日保協

【保育施設の多機能化の運営手法】

誰でも通園制度は人口減少や職員不足の現状があるだろうと考えられるが、将来的な法人経営を考えると積極的に手を挙げてでも実施していくべきであると考えられる。

令和7年度 北海道・東北ブロック 合同研修会 開催(10/16・17)
会場 パーティギャラリーイヤタカ 大勢の参加をお待ちしております。

○青年部

令和7年 第46回青年部全国保育者会議宮城県大会の実行委員として活動中
令和7年 第46回青年部全国保育者会議宮城県大会 開催(9/3・4・5)
会場 仙台市 江陽グランドホテル 大勢の参加をお待ちしております。

○女性部

令和8年度から「保育の質を高める研究集会」と「理事長・所長研修会」が一本化するが、発表園の順番はどうかは未定。

北海道・東北女性部運営委員会ブロック研修開催予定について、令和7年度担当の札幌支部が退会したため、秋田県支部が繰り上がる。宮城県支部が加わるか未定

◎私保連

○青年部

令和8年度 青年会議岩手大会 講師の都合上(11/12・13)日程が変更になる

(2) その他

○共創プロジェクトチームから

秋田県警・日本郵便・保育協議会の三者による連携協議会を立ち上げましたが、今現在何も活動していない状況で反省しております。各団体から提案事項がありましたので、それを資料化し三者で共通認識を持ちたいと思っております。

聖園短期大学・聖霊短期大学の先生方による園内研修支援事業につきまして、秋田県内2か所の募集いたしました。今のところ応募者がおりません。12月末まで期間を延長いたします。

○全私保連

※クイックリサーチシステム(QRS) サポーター募集

この度、全私保連調査部では、調査を迅速に行い、迅速に結果を出す「クイックリサーチシステム」(略称QRS)を導入することになりました。趣旨をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

QRS(クイックリサーチシステム) サポーター登録者について

1. 登録に条件はありません。関心のある方すべての方にご登録いただけます。
2. 登録いただいたメールアドレスに、月に数回、1回7問程度のアンケートが届きます。
3. ご登録頂いた方には迅速に結果(単純集計)を報告致します。
(※調査内容によっては、結果が公表されない場合もあります。)
4. 登録解除を希望される場合は、調査依頼のメールへ「解除希望」と記入してご返信ください。
5. お預かりした個人情報については厳重に管理いたします。

総務部

【実施した部会】

- 第3回 日時：7月29日 13：30～
場所：WEB開催
内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の反省
旅費規程（交通費の計算方法について）事務局と確認
地域交流助成の状況報告
災害互助制度申請の年度越えの請求について
大雨による被害について
全国保育協議会会費の値上げについて

【今後の部会予定】

- 第4回 日時：11月21日 13：30～
場所：WEB開催
内容：上半期予算執行状況について
地域交流助成について

【部からのメッセージ】

今回は災害互助制度、地域交流助成事業の申請が上がった場合、どのように審査されるかをお知らせいたします。災害互助は災害互助委員会（災害互助委員は常任委員）、地域交流助成事業は常任委員の審査となっております。申請の都度常任委員で審査しておりますが、審査方法は、グループコミュニケーションを効率化させるアプリ『BAND』を利用しています。常任委員へのお知らせや日程共有・出欠管理さらに投票やトークなど、BANDの機能を使って連絡の時間やコミュニケーションの手間が省けています。BANDは他のメンバーと連絡先を交換せずに参加することができ、さらに情報保護に関する国際認証を取得しているのでセキュリティも問題ないことを確認しています。これだけの機能が揃って無料です。毎回どのように審査されるかを含め、常任委員会で利用している効率的な連絡や情報共有方法のお知らせでした。

なお、地域交流助成事業につきましては、対象事業や助成金額、審査方法等について改善を図り検討を進めているところです。

（総務部長 畠山 柳子）

研修部

【実施した部会】

- 第3回 日時：8月7日（水） 16：00～16：30
場所：保育協議会 会議室
内容：第27回 保育カウンセリングセミナーについて
第33次保育士等研修会3回目(清太郎さんの森)について
- 第4回 日時：9月11日（水） 16：00～16：40
場所：保育協議会 会議室
内容：第27回 保育カウンセリングセミナーの反省
第33次保育士等研修会3回目(清太郎さんの森)の実施検討について

【今後の部会予定】

- 第5回 日時：2月中旬
内容：今年度の振り返りと来年度に向けて

【部からのメッセージ】

熊出没警報の発令期間が延長され、森での体験研修の実施について話し合いました。中止するのではなく、実施可能な方法で行うこととし、研修場所と講師を変更して行いました。

話し合いによりでた様々な意見を来年に活かし、会員の皆様にとって有意義な研修を実施できるよう努めてまいります。今後ともご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

(研修部長 飯田 裕美子)

研究大会部

【実施した部会】

- 第1回 日時：8月6日（火）13：30～15：30（保育協議会 会議室・WEB 併用）
内容：第72回北海道・東北ブロック保育研究大会の反省について
・令和7年度秋田県保育研究大会について
- 第2回 日時：9月12日（木） 10：00～12：00（保育協議会 会議室）
内容：「令和5年度秋田県保育研究大会引継ぎの会」事前打ち合わせについて
- 第3回 日時：10月30日（水）13：30～15：30（保育協議会 会議室・WEB 併用）
内容：令和7年度秋田県保育研究大会について

【今後の部会予定】

- 第4回 日時：1月17日（金） 10：00～
内容：令和7年度秋田県保育研究大会発表園の原稿の確認

【部からのメッセージ】

日頃より、研究大会部の活動に対しご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
7月の北海道・東北ブロック保育研究大会では、発表園さんをはじめ、関わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。大変お疲れ様でした。
令和7年度、南秋田地区での保育研究大会も何卒よろしくお願い申し上げます。

（研究大会部長 田口 志織）

運営研究部

【実施した部会】

- 第3回 日時：10月9日（水） 13：30～15：00
場所：WEB 開催
内容：園長セミナー役割分担について
青年部との合同研修会について
市町村における補助金等の調査の集計について

【青年部との合同部会】

- 第1回 日時：11月1日（金） 13：30～15：00 青年部との合同部会
場所：保育協議会 会議室・WEB 併用
内容：公定価格検討委員会について
合同部会・共同事業の意義について
今後の活動予定について

【今後の青年部との合同部会予定】

- 第2回 日時：今年度中
内容：青年部との合同研修会について

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の事業にご理解ご協力ありがとうございます。また、10月22日の園長セミナーには多数のご参加をいただき心より感謝申し上げます。

現在、青年部との合同研修会開催に向かい話し合いが始まりました。今後、会員の皆様の施設運営に役立つ内容になるように検討していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

（運営研究部部长 吉川 誠治）

広 報 部

【実施した部会】

- 第3回 日時：8月1日（木） 13：30～16：30
場所：保育協議会 会議室
内容：北海道・東北ブロック保育研究大会の反省について
・『保育あきた』瓦版 原稿校正作業
プロジェクター、スクリーンを使用し誤字脱字等の修正
- 第4回 日時：10月7日（月） 13：30～15：00
場所：WEB 開催
内容：『保育あきた』瓦版（12月発行）について
内容の確認（開催された研修会）
依頼園への担当決め
・『保育あきた』（3月）の発行について
原稿依頼について 研修会報告について（11月以降の研修予定）
- 第5回 日時：11月26日 13：00～16：00
場所：保育協議会 会議室
内容：広報誌『保育あきた』瓦版の校正作業
誤字脱字修正 等
・『保育あきた』3月発行について

【今後の部会予定】

- 第6回 日時：1月下旬予定
内容：広報誌『保育あきた』の発行について
・原稿依頼の状況と担当決め

【部からのメッセージ】

今年度2回目となる『保育あきた』瓦版を発行いたします。是非とも職員の皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っております。広報部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（広報部長 川嶋 博英）

青年部

【実施した部会】

- 第1回 日時：8月8日（木）9：30～11：00
場所：WEB 開催
内容：研究大会の反省、今後の事業について等

- 第2回 日時：9月10日（火）13：30～17：00
場所：保育協議会会議室・WEB 併用
内容：研修内容に関するニーズ調査について、青年部研修会について
全国青年保育者会議（宮城大会）PR 動画作成について等

- 第3回 日時：10月10日（木）13：30～17：00
場所：保育協議会会議室
内容：青年部研修会について、運営研究部との合同研修会について
研修内容に関するニーズ調査について等

【実施した研修会】

青年部研修会

- 日時：11月25日（月）13：00～17：00
- 場所：アトリオン 多目的ホール（地下1階）
- 講師：菊地 政隆 氏

【運営研究部との合同部会】

- 第1回 日時：11月1日（金）13：30～17：00
場所：保育協議会会議室・WEB 併用
内容：運営研究部・青年部合同研修会について等

【今後の部会予定】

- 第4回 日時：12月中を予定
場所：WEB 開催予定

【運営研究部との合同部会】

- 第2回 日時：今年度中
内容：青年部との合同研修会について

【部からのメッセージ】

11月に開催した青年部研修会には、多数の皆さまのご参加をいただきました。保育者にとっての「保育の源」を刺激されるような、大変有意義なものになったと思っています。

運営研究部との合同研修会の開催に向けて、準備・協議を進めております。「公定価格検討委員会」の活動を後押ししていけるよう、部としても連携を図っていきたいと思います。

研修内容に関するニーズ調査を今年度中に実施をする予定でおります。会員施設の皆さまからのご協力をよろしくお願いいたします。

(青年部長 伊藤 昌人)

編集後記

カメムシの多い年は雪が多いと言われ、今年はこちらこちらで発見されたその大雪予想のカメムシ。しかも、今まで見たこともない緑カメムシまで大量発生！！ということは…今年は無曾有の大雪か！！と心配していますが、今のところその兆候は見られず良い感じで予想を裏切ってくれていますね。この瓦版が皆さんの目に入る頃にはどちらに転んでいるのやら…☀🔒

さて、今年も広報誌のために原稿依頼を引き受けてくださった皆様、本当にありがとうございました。迎える新たな年が、子どもたち、その子どもに関わる全ての人にとって幸せでありますように…

そして最後に、カメムシ予想が外れますように…

(S.N)



秋田県保育協議会 広報部員

担当副会長 岸 大助 (湯沢こども園)

部長 川嶋 博英 (子吉保育園)

副部長 佐川 ひとみ (幼保連携型認定こども園 ふじ)

” 津村 侑弥 (明照保育園)

部員 南部 芳道 (金沢保育園)

” 仲塚 鈴香 (脇本保育園)

” 大門 ヒサ子 (こどものくに保育園)

” 西村 優子 (みたけこども園)

” 鈴木 千佳子 (前田保育園)

” 鈴木 直子 (にこにここども園)